

## 令和7年度 第4回学校経営研修会 7/2

7月2日（水）、教育記念館において、標記の研修会が行われました。開会の挨拶では、石田和義 県小学校会会長より、以下の話がありました。

1点目は、自殺対策基本法の一部を改正する法律の公布についてです。本改正の背景には、全体として減少傾向にあるものの、子供の自殺者は増加傾向が続いているなど、憂慮すべき事態が生じていることが挙げられます。夏季休業中、休業明けに注意して、気になる子供に連絡や面談等をしたりして、かけがえのない命を守っていくことに努めていこうということでした。



2点目は、サービスの徹底についてです。ニュース等で発信されているように、不祥事が絶えない状況です。「令和7年度版 学校管理の手引き」105～109ページを、学校の実態を把握して活用し、繰り返し指導していくことです。効果があるのは、教職員への労いや温かい声かけだと思われます。がんばっている教職員に、「がんばっている」という思いを校長からぜひ伝えていってほしいということでした。その他、管理職候補となる人材の育成や今後の校長会の運営について、今後を見通して考え、改善していかねばならないということでした。

各部会からの報告・連絡の後、上市町校長会の取組として、「社会に開かれた信頼される学校づくり ～学校再編・地域とともにある学校づくり～」について提案発表がありました。上市町は、令和8年度に3小学校を総合し、令和15年度に義務教育学校開校予定としています。町校長会では、未来につながる「地域とともにある学校づくり」を目指して、ふるさと学習、義務教育学校に向けた取組、各校（区）の特色ある伝統を生かす学校づくりの実践に取り組んでいるという提案でした。



上市町校長会の提案を受け、グループごとに意見交換し、研修を深めました。